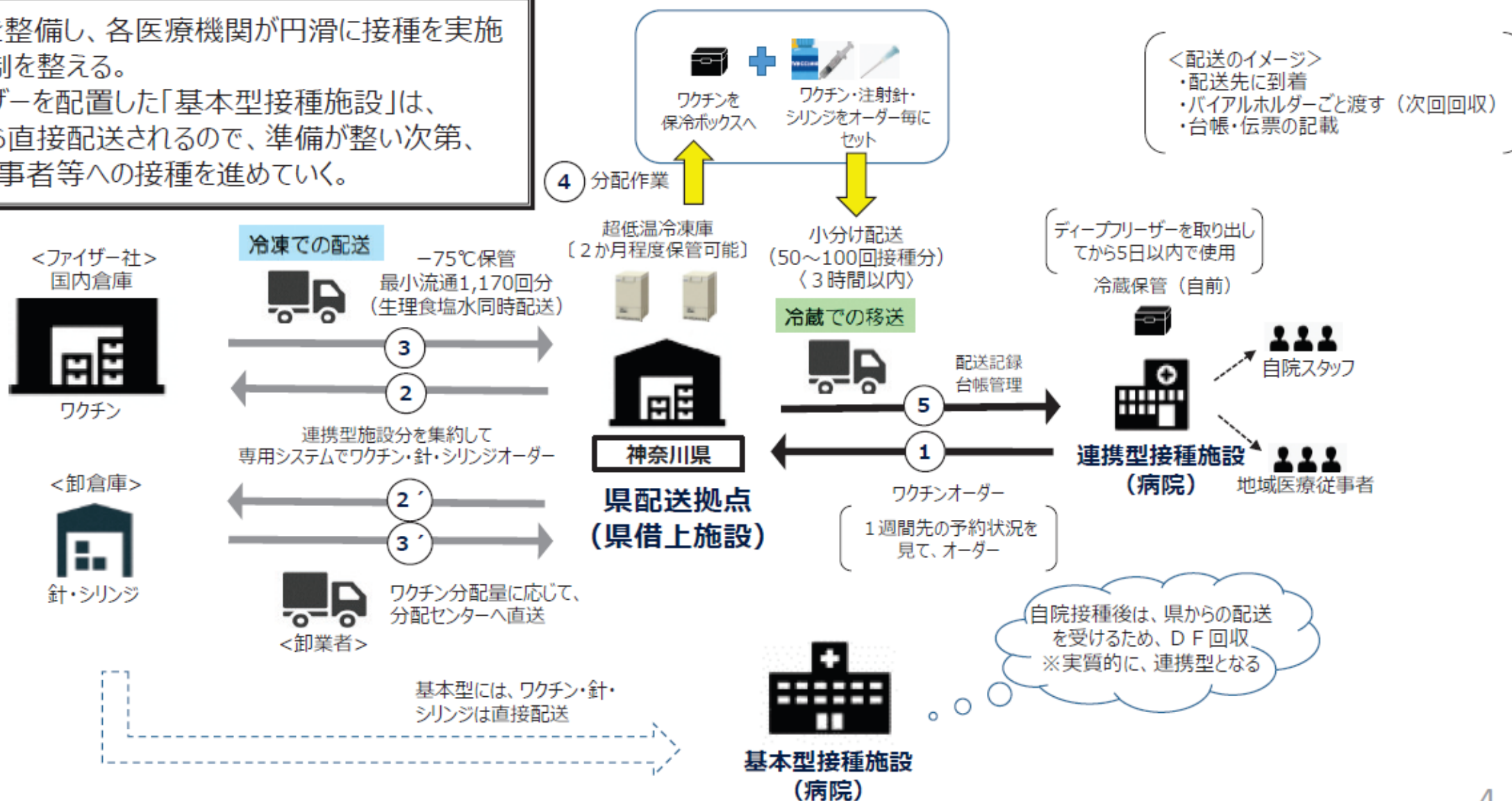


# 新型コロナウイルスワクチン 医療従事者向け優先接種について

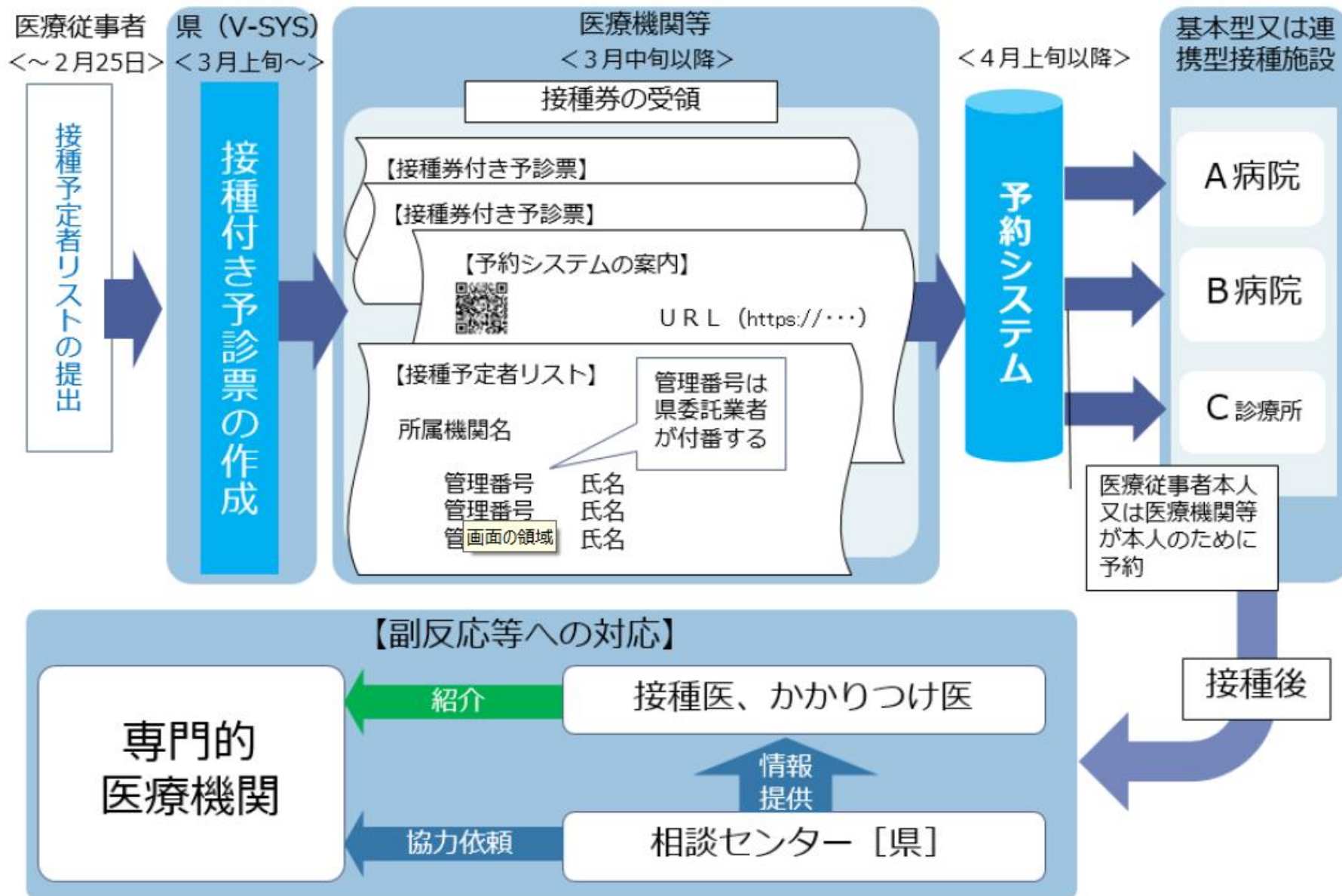
# 県配送拠点イメージ

- 県配送拠点を整備し、各医療機関が円滑に接種を実施できるよう、体制を整える。
- ディープフリーザーを配置した「基本型接種施設」は、ファイザー社から直接配送されるので、準備が整い次第、自院の医療従事者等への接種を進めていく。



※ワクチンオーダーから1週間後に到達することを想定（ワクチン発注後、何日程度で納品されるか、国から情報なし）

# (1) 被接種者の流れ



# (2) ワクチンの流れ (配置図 (基本型接種施設・県配送拠点))



医療機関名	区分
1横浜市立大学附属市民総合医療センター	B
2横浜市立大学附属病院	A
3横浜市立市民病院	A
4済生会横浜市東部病院	B
5横浜労災病院	B
6昭和大学横浜市北部病院	A
7横浜市立みなと赤十字病院	B
8横浜南共済病院	B
9済生会横浜市南部病院	A
10聖マリアンナ医科大学病院	A
11川崎市立川崎病院	A
12関東労災病院	B
13日本鋼管病院	A
14川崎市立多摩病院	A
15川崎市立井田病院	A
16川崎協同病院	A
17横須賀共済病院	A
18北里大学病院	B
19相模原協同病院	A
20藤沢市民病院	B
21湘南鎌倉総合病院	A
22小田原市立病院	A
23三浦市立病院	A
24海老名総合病院	B
25厚木市立病院	A
26神奈川県立足柄上病院	B
27東海大学医学部付属病院	B
28大和市立病院	B
29茅ヶ崎市立病院	A

※ 区分Aは自院接種と他院接種を行う基本型接種施設  
 ※ 区分Bは自院接種のみ行う基本型接種施設

- **基本型接種施設**（鎌倉市は湘南鎌倉総合病院）
  - ・ **29医療機関**を選定
  - ・ ワクチン接種に注力してもらうため、連携型接種施設へのワクチン等の配送は、**県において配送拠点を整備**し、負担軽減を図る。  
（ただし、基本型接種施設に配送されるワクチン管理はそれぞれの施設が対応）
- **連携型接種施設**
  - ・ 各医療機関に、意向調査（調査数6,527機関）した結果、**約4,500医療機関**から回答あり
  - ・ 連携型としての選定に同意した**3,697医療機関**を選定（回答数の82%）
  - ・ そのうち、433医療機関を他院接種を行う連携型接種施設として選定
  - ・ 地域の実情等を踏まえ、今後**140医療機関**を追加選定予定  
※県医師会を通じて郡市医師会に推薦を依頼している

# 連携型接種施設A

- 湘南記念病院
- ふれあい鎌倉ホスピタル
- 鎌倉ヒ口病院
- 鎌倉病院
- 清川病院
- 大船中央病院
- 鈴木病院
- 額田記念病院
- 休日夜間急患診療所

# (1) 医療従事者向けワクチン配分（今後見込・予測）

3/1の週	3/8の週	3/22の週	3/29の週	4/12の週	4/19の週	5/3の週？	5/10の週？
第1弾（1回目）		第1弾（2回目）		第2弾（2回目）		第3弾（2回目）	
28箱	28箱	28箱	28箱	11箱	11箱	67箱(予測)	67箱(予測)
		第2弾（1回目）		第3弾（1回目）			
		11箱	11箱	67箱(予測)	67箱(予測)		
27,300回	27,300回	38,025回	38,025回	76,050回	76,050回	65,325回	65,325回

県への配分量（1回目・2回目計） **413,400回分（206,700人分）**

**基本型・連携型接種施設の自院従事者等の人数分(約14万人)は確保できる見込み**

⇒ 他院接種向けの予約システムが稼働（4月上旬以降）するまでの間、自院従事者を優先して接種し、接種施設における体制を構築した後、他院接種へ移行することとしたい。

2/15週	2/22週	3/1週	3/8週	3/15週	3/22週	3/29週	4/5週	4/12週	4/19週	4/26週	5/3週
-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------

医療従事者等向け優先接種

122箱出荷

1回目接種

2回目接種

500箱出荷

500箱出荷

1回目接種

500箱出荷

500箱出荷

2回目接種

200箱出荷

200箱出荷

1回目接種

200箱出荷

200箱出荷

2回目接種

1200箱出荷

1200箱出荷

1回目接種

5月10日の週に、医療従事者等約480万人(\*)2回分の配布を完了する見込み。

\*全国知事会調べ

6回接種可能な注射器等を配布

高齢者向け優先接種

100箱出荷

1回目接種

6月末までに、高齢者約3600万人2回分の配布を完了する見込み。

500箱出荷

1回目接種

全ての市区町村に1箱ずつ配送予定

500箱出荷

1回目接種

5月9日までに配送予定

1741箱出荷

4000箱程度

順次接種

## 6 高齢者向け優先接種

**(1) 高齢者用ワクチンの市町村への配分内訳  
(4月配送分)**

# (1) 高齢者用ワクチンの市町村への配分内訳（4月配送分）

- 4月5日～4月19日の週に**44箱**が県内の市町村に配送される。
- 市町村の**高齢者施設入居者数の割合**に応じて、各市町村へ配分

市町村	配分
横浜市	17箱
川崎市	7箱
相模原市	4箱
横須賀市、藤沢市	各2箱
平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、小田原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、座間市、海老名市、綾瀬市	各1箱
計	44箱

※ 別途、4月26日の週には、**全市町村に1箱ずつ**配送される予定

# 高齢者向け優先接種（鎌倉市）

- 施設 4月17日（土）接種予定

嘱託医、医師会理事、看護師、薬剤師にて施設に行き接種。

- 高齢者市民 5月15日（土）より開始予定。

集団接種 接種会場にて。

医師、看護師、薬剤師、市役所職員、ボランティア、

予約制

医師の業務は主に問診、接種後状態観察、急変時の対応

# 接種予定施設

- ふれあいの泉（65人）
- ヒルズ桜栄鎌倉（80人）
- かまくら愛の郷（110人）
- ささりんどう鎌倉（70人）
- ラペ鎌倉（80人）
- 鎌倉プライエムきしろ（76人）
- 特養鎌倉静養館（64人）
- 鎌倉清和由比（70人）
- 稲村ヶ崎きしろ（58人）
- 七里ガ浜ホーム（110人）

➡ 計10施設、接種希望人数783人

# 集団接種

市民向け 鎌倉市内の集団接種会場は7カ所を予定

- 鎌倉福祉センター
- 御成小学校
- 鶴岡八幡宮研修道場
- 腰越小学校
- 腰越さわやかセンター
- 鎌倉武道館
- 三菱電機大船体育館

## (4) 使用するワクチンについて

### コミナティ® (ファイザー社)

- メッセンジャーRNAワクチン
- 通常 **3週間**空けて、**2回**受ける必要があります
- 次のような症状が現れることがあります

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10 - 50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1 - 10%	吐き気、嘔吐

# 集団接種予行練習（4/4福祉センター） （タナー）

